

蚊に刺されないよう、ご注意ください

蚊は、ジカウイルス感染症（ジカ熱）やデング熱をはじめ、マラリアや日本脳炎などの感染症を媒介することが知られています。

現在ジカウイルス感染症（ジカ熱）やデング熱などは、有効な治療薬やワクチンがまだ開発されていませんので、蚊に刺されないことが最も重要な予防方法です。

蚊に刺されないために、長袖・長ズボンを着用する以外に、下記のことに注意し、蚊に刺されないようにしましょう。

蚊が媒介する感染症

- ・ジカウイルス感染症
- ・デング熱
- ・日本脳炎
- ・ウエストナイル熱
- ・チクングニア熱
- ・マラリア



①忌避剤（虫よけスプレーなど）を使う。

忌避剤は蚊の吸血行動を防止します。エアゾール、ローション、クリームなど、各種製品が市販されています。

忌避剤では蚊は死なず、また忌避剤の効果は塗った表面の近くでのみ効果を示すため、忌避剤を使用しても蚊は人の周りを飛び回ります。

忌避剤の正しい使用方法

- ・露出した皮膚・衣服にむらなく塗る。
- ・使用上の注意を守り、過剰に塗らない。
- ・傷や炎症部位、目や口の周囲は塗らない。
- ・蚊に刺され始めたら再使用する。
- ・屋内に戻ったら洗剤と水でよく洗い流す。
- ・小さな子供には自分で使用させず、大人が手に必要量を取り、塗ってあげる。



②蚊を近づけないようにする。

忌避剤による対策のみでなく、蚊を近づけないようにすることも重要です。

- ・雑草を刈り取る、樹木は適切に剪定し風通しを良くするなど、蚊の潜み場所をなくす。
- ・窓に網戸を設置する、玄関や窓の開閉は素早くする、蚊取り線香を使用するなど、屋内への蚊の侵入を防ぐ。
- ・殺虫剤による駆除は一時的に効果があるが、あくまで補助的に使用する。



③蚊の発生源をなくす。

蚊の幼虫（ボウフラ）は水のあるところに発生します。長期間水をためないようにすることが有効な対策となります。

- ・空き缶、古タイヤなどは撤去するか、雨の当たらないところに置く。
- ・汲み置き水、植木鉢の受け皿などは1週間に1回水を入れ替える。
- ・つまった雨どい、側溝などは清掃してつまりを取り除く。

担当：岡崎市保健所生活衛生課感染症対策係
電話：0564-23-6714